

利用成果報告書

- 1 課題番号 R3-E36
- 2 報告者 星 治 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 軸構成分子を中心とした染色体の高次構造解析
- 5 使用装置名 原子間力顕微鏡
- 6 利用期間 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
- 7 利用成果・実績の概要 ヒトリンパ球由来の染色体を原子間力顕微鏡によりイメージングを行った。本装置の特徴の一つである定量撮像(QI)モードと呼ばれる方法により、溶液中の染色体について、形状像のみならず粘弾性(ヤング率)も測定可能であることが確認できました。
- 8 社会・経済への波及効果 原子間力顕微鏡の医生物学領域における有用性を示すことが、波及効果の1つと考えられます。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し